

インドの請負労働者

-Devdutt Kadrekar

最高人事責任者

KLT Automotive & Tubular Products Ltd

はじめに

- 氏名 : Devdutt KADREKAR
- 国 : インド
- 勤務先 : KLT Automotive & Tubular Products Ltd
- 以下の工場を所有する資本金18,700万米ドルの会社である。
 - インド : 9カ所
 - 南アフリカ : 2カ所
- 職務 :
 - 最高人事責任者として次の分野を担当している。
 - 労使関係
 - 人的資源管理
 - 人材育成

インドの産業の現状-2018年

- GDP成長率: 7%
- 物価上昇率: 3.48%
- 人口が多いため
 - 商品とサービスへの需要が増加し続けている。
 - したがって熟練労働者の需要も増加し続けている。
- 低賃金(他国と比較して)
- 産業が一貫して急成長している。
- 産業発展の地域差が小さくなってきている。
 - 産業振興のため魅力的なオファーを多数の州が出している。
 - 産業発展に必要なインフラ整備が重視されてきている。
 - 産業振興に必要なデータとサービスがオンラインで入手できる。
 - 事業が認可されやすくなっている。

インドの労働力の現状

- 人口が多いことによって発生する低賃金と産業発展：
 - 商品とサービスへの需要が増加し続けている。
 - したがって熟練労働者の需要も増加し続けている。
- 熟練労働者の二極化：
 - 多くのエンジニアが存在するが、比較的優秀な人材は特定の地域の特定の大学に限られている。
 - 技術を十分に入手することができる。

インドの請負労働者の現状

- インドの請負労働者率:46%
- 仕事の性質:短期間
- 請負労働者の待遇:多くの企業で補助的な労働者として扱われている。
- 労働条件:正規労働者とほぼ同じ。
- 請負労働者には注文会社で正規労働者になる機会が与えられる。

業務請負を利用するメリット

- 重要度の低い業務に専念する必要がない。
- 直接、管理・監督する必要がない。
- 依頼した業務が迅速に完了される。
- 責任を負う必要性が低い比較的低賃金の労働力である。
- 労使関係の問題があまり発生しない。
- 季節性産業にとってメリットがある。

業務請負を利用するデメリット

- 請負会社に対して追加料金を支払わなければならない可能性がある。
- 請負会社が独占的な行動をする可能性がある。
- 従事する労働者がいつも同じではなく品質を低下させる可能性がある。
- 労働力の搾取に繋がる。
- 労働組合からの反対を受ける。
- 請負労働者と正規労働者で賃金格差が生まれてしまう。
- 請負会社は出来高制で仕事を割り当てられる。

インド1970年請負労働（規制及び禁止）法

この法律は次の場合に適応される。

- 現在20名以上の請負労働者が雇用されている組織、または過去12ヶ月以内に20名以上の請負労働者が雇用されていた組織。
- 現在20名以上の請負労働者を雇用している請負会社、または過去12ヶ月以内に20名以上の請負労働者を雇用していた請負会社。

注記：請負労働者が異なる場所で雇用されている組織に対してもこの法律は適応される。つまり、請負労働者を足した数がここでは考慮される。

請負労働法が適応されない組織：

実施される業務が一時的な性質のものの場合はこの法律が適応されない。
また、次のような場合は一時的な性質の業務とはみなさない。

- (1) 過去12ヶ月以内に120日を超えて勤務した場合
- (2) 季節性の業務であり、1年以内に60日を超えて勤務した場合

請負労働法の重要な内容

- 請負労働者を雇用することによって雇用が柔軟になる。
- 長期的な業務に請負労働者を就労させることは禁止されている。
- 福利厚生の条件。
- 特定の州においては内容が修正されている。
- 請負労働者は他の労働法によっても保護されている。

業務請負法により請負労働者に与えられる設備

- 清潔な休憩所
- 食堂
- きれいな飲み水
- 洗い場
- 救急箱

KLT Automotiveにおける請負労働者

分類	人数
組合に加盟していない社員	543人
組合に加盟している社員	268人
請負労働者	1723人
合計	2534人

ありがとうございました